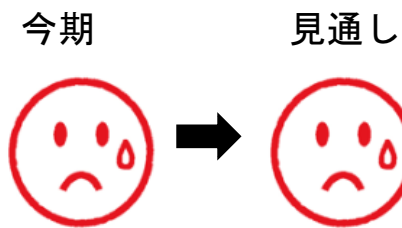


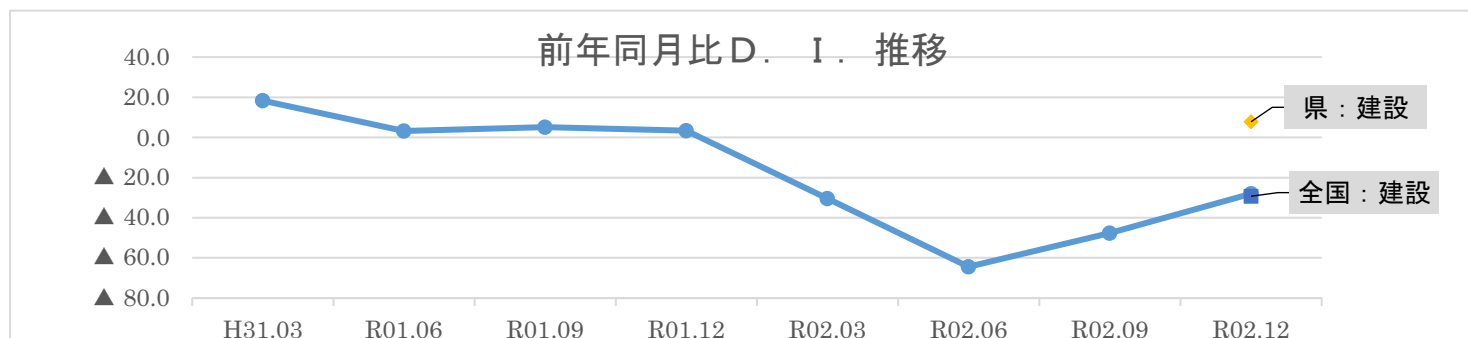
建設業

回答率：91.9% (57/62)



■丹波市の景況推移

新型コロナウイルス長期化の影響を受けているものの、少しずつではあるがリフォームなどの見積もりが増えており、徐々に回復の兆しがみられる業種もある。



■丹波市の景況動向

【丹波市の今期の景況】

新型コロナウイルス長期化の影響はあるものの、少しずつではあるがリフォームなどの見積もりが増えており、着工の契約件数も増えている。ただし、会社関係の新築・改修工事は先送りされている状況である。業種業態によって景況感にばらつきがみられる。

【丹波市の来期の景況予想】

消費マインドの減退で引き続き受注減が続いているものの、見積り依頼も増えてきており、来期に向けては明るい兆しがみられる業種もある。

■全国の景況動向

公共工事が堅調であることに加え、一部地域では、降雪による除雪需要や災害復旧工事の需要があり、全般的に好調を維持している。また、民間の住宅関連でも、リフォーム工事等の受注が好調である。しかし、今後の受注見込みが減少傾向にあることや、資材調達難等により、先行きは不透明である。

■県下の景況動向

公共工事による下支えに加え、住宅関連においても、リフォーム工事等が徐々に増えてきているものの、大きな回復には至っておらず、依然として厳しい状況が続いている。

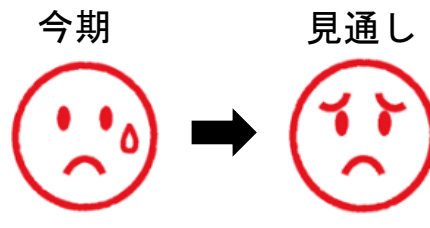
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	0	3	1	0	2	1	7	12.3%
不変	2	12	2	4	3	4	27	47.4%
悪い (悪化+やや悪化)	2	7	4	6	2	2	23	40.3%
合計	4	22	7	10	7	7	57	100.0%

製造業

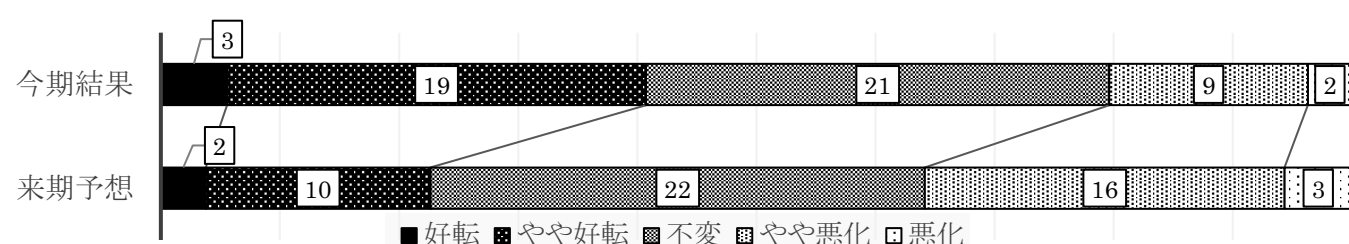
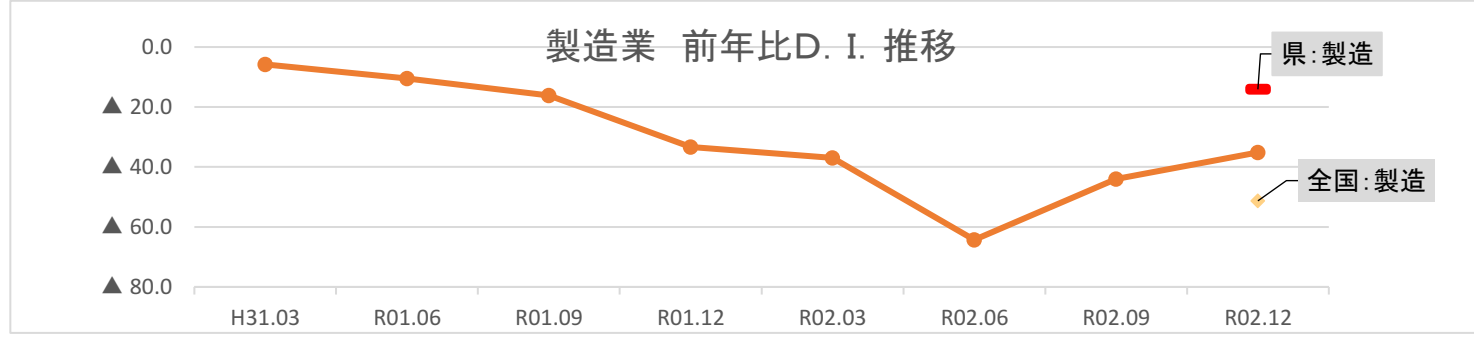
回答率：94.7% (54/57)

2020年10月～12月期調査



■丹波市の景況推移

受注量、生産量は徐々に回復傾向にあったが、感染再拡大を受け、業況が一変してきており、来期以降後退していくものとみられる。



■丹波市の景況動向

【丹波市の今期の景況】

新型コロナウイルスの影響から徐々に回復傾向にあり、通常稼働を行っている企業が見受けられてきた。しかし、感染再拡大を受け、後半から影響が出始め、今後不安が残る状況である。

【丹波市の来期の景況予想】

感染再拡大を受け、1月以降の受注量の減少や取引条件の悪化が発生しており、コロナの影響は今後更に出てくるものと予測される。

■全国の景況動向

食料品製造業は巣ごもり需要の継続により、内食向けが堅調である一方で、感染再拡大を受け、観光客の減少に伴い、宿泊施設や外食産業へ納入を行っている製造業者は下降に転じている。プリント回路や電子部品製造業は持ち直しの動きが継続しているが、アパレル関連の業種は依然として厳しい水準が続いており、全体的には生産調整等により厳しい状況で今後不安が残る。

■県下の景況動向

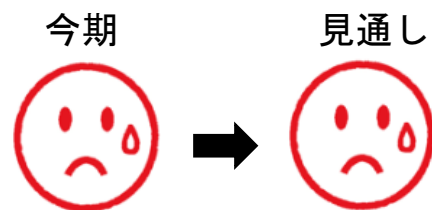
業態によって回復度合いが異なり、一部回復の兆しが見えていたが、感染再拡大を受け、全体的に厳しい状況が続く、今後も不安要素の拡大や見通しが悪い。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	2	0	1	5	1	11	20.4%
不変	2	2	1	2	5	1	13	24.1%
悪い (悪化+やや悪化)	2	8	6	3	7	4	30	55.5%
合計	6	12	7	6	17	6	54	100.0%

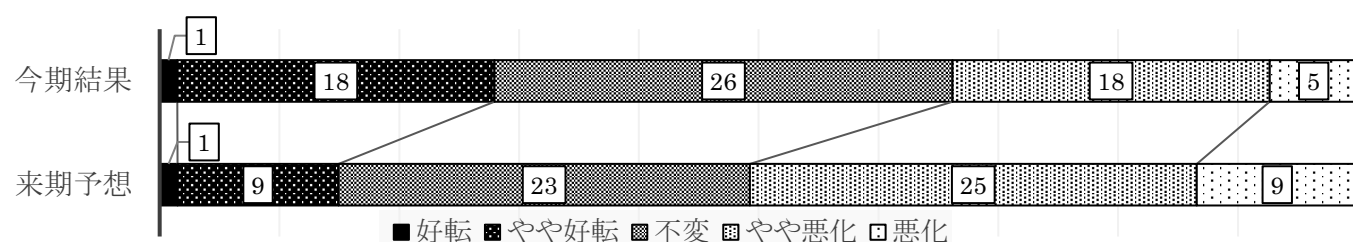
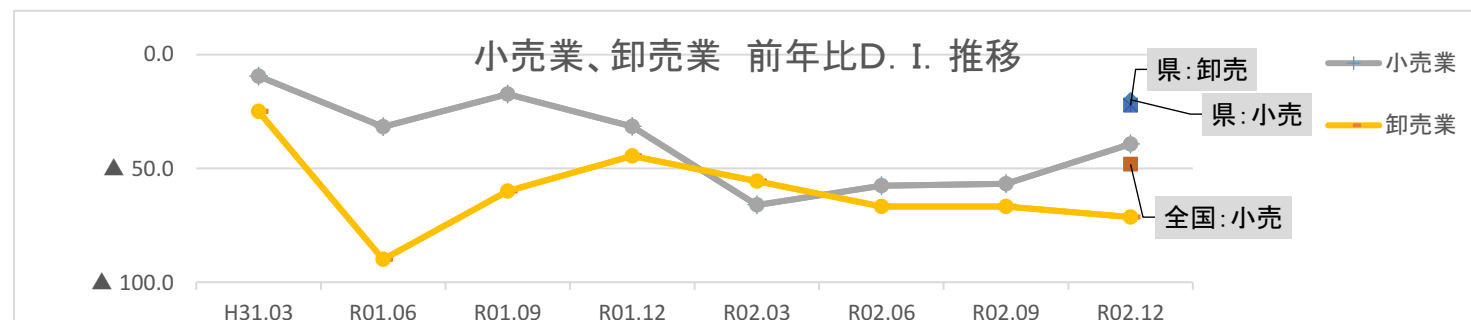
小売、卸売業

回答率：91.9% (68/74)



■丹波市の景況推移

食料品・耐久消費財関連は新型コロナウイルスの影響は少なく売上維持の傾向であるが、衣料品関連は、感染拡大に伴い、外出を控える傾向が強まり未だ厳しい状況が続いている。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

食料品類は日常的に必要なため大きな変動はないが、自粛傾向で人の動きが鈍く進物関係の売上が伸び悩んでいる。学校行事の縮小により体操服などの衣料品等の需要が減少し売上が伸び悩んでいる状況である。

【丹波市の来期の景況予想】

新型コロナウイルス感染再拡大の影響もあり、市民の間で危機感が強まっており、消費マインドの悪化の恐れがある。新型コロナウイルスの影響で生産が遅れている商品があり、今後の入荷見込みも立たず売上減少が予測されるなど、卸売業への影響も続いている。

■全国の景気動向

食料品関連は、年末年始の帰省等の自粛の代替えとして、お歳暮が好調であり、引き続き内食や巣ごもり需要も好調であるものの、例年と比べると厳しい状況にある。衣料品関連は、感染拡大に伴い、外出を控える傾向が強まり、厳しい状況が続いている。耐久消費財関連は、ウイルス対策関連が好調であるものの、通販や大型店に需要が流れている傾向がある。

■県下の景気動向

耐久消費財は新型コロナウイルスの影響が続いており、大手では一部持ち直しの企業もあるが、小規模事業者はいまだ厳しい状況が続いている。衣料品関連も、感染拡大に伴い、外出を控える傾向が強まり厳しい状況である。

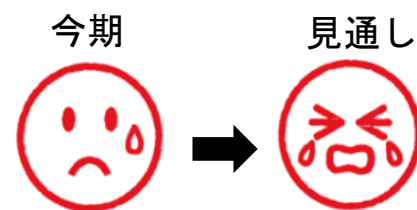
■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	3	0	2	2	1	10	14.7%
不変	2	12	1	1	2	1	19	27.9%
悪い (悪化+やや悪化)	7	12	3	6	8	3	39	57.4%
合計	11	27	4	9	12	5	68	100.0%

飲食・宿泊、サービス、その他業種

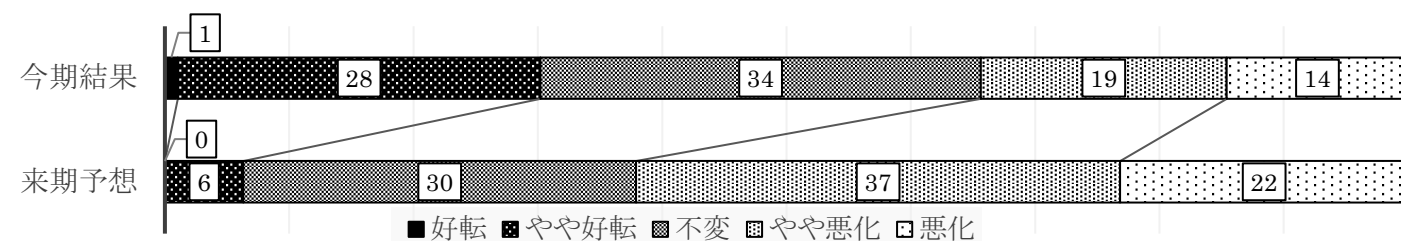
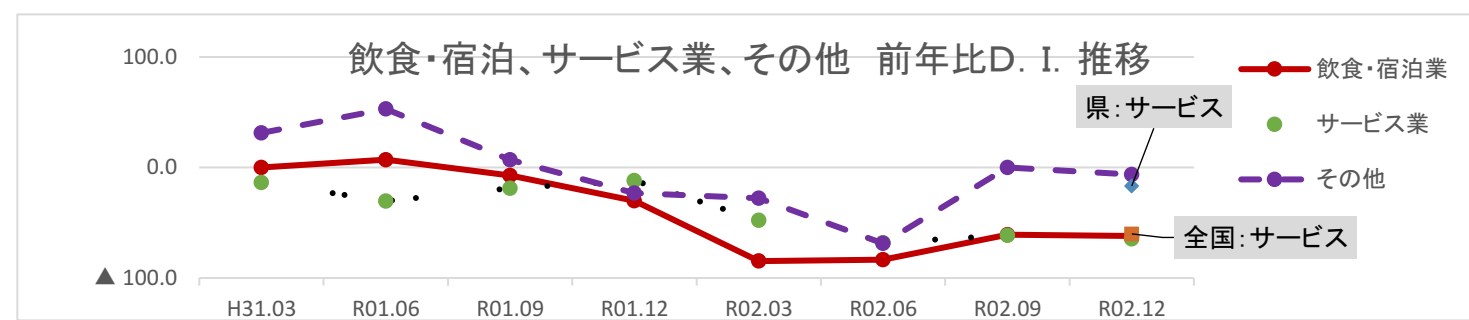
回答率：89.7% (96/107)

2020年10月～12月期調査



■丹波市の景況推移

来期も飲食宿泊業を中心としたサービス業は非常に厳しい状況が予想される。緊急事態宣言により人の動きが停滞している為、短期間での飲食・宿泊・観光等の需要回復は見込めない状況である。



■丹波市の景気動向

【丹波市の今期の景況】

理美容業は、新型コロナウイルスの影響により客数減少、来店頻度の長期化が見られた。飲食業では、団体予約が激減。年末年始の忘年会や新年会の多くはキャンセルとなり、テイクアウト商品等を提供しているが、現状回復までには程遠い。

【丹波市の来期の景況予想】

来期も飲食宿泊業を中心としたサービス業は非常に厳しい状況が予想される。緊急事態宣言により人とモノの動きが停滞している為、短期間での飲食・宿泊・観光等の需要回復は見込めない状況である。

■全国の景気動向

業種により差はあるが、多くの業種で悪化の傾向が見られた。特に悪化したのは飲食宿泊業。GoToキャンペーンで盛り上がった観光関連需要も感染拡大の影響で一気に冷え込んだ。雇用環境も業種全体に於いて悪化傾向にある。一方、巣ごもり需要拡大によりインターネット関連サービス（音楽・動画配信サービス等）が好調である。（好転の業種は限定的であった。）

■県下の景気動向

特に県内各地の観光地に於いて、GoToキャンペーン一時停止による景気後退の影響が強く見られた。県下全域に於いて宿泊業、これに関連する飲食、クリーニング業者といった広い関連業種に影響が波及している。

接客機会の多いサービス業全般に於いて、今後益々感染予防対策の徹底、サービスの変化が求められる。

■地区ごとの回答（前年同期比）

	柏原	氷上	青垣	春日	山南	市島	合計	構成比
良い (増加+やや増加)	2	4	1	2	0	1	10	10.4%
不変	5	8	2	3	4	2	24	25.0%
悪い (悪化+やや悪化)	17	15	5	7	8	10	62	64.6%
合計	24	27	8	12	12	13	96	100.0%